



モラロジー専攻塾 モラロジー・最高道德テーマ研究 発表会のご案内

研修2年目を迎えたモラロジー専攻塾第22期生4名が、1年間のモラロジー・最高道德の研究と実践を踏まえ、各自が設定したテーマについて発表を行います。

また今回は、昨年度、職員として塾研修に参加した2名にも、1年間モラロジーを学んでの気づき、仕事や生活とのかかわりについて発表していただく予定です。

皆さまのご来場を心からお待ちしています。

記

日時 平成25年5月12日（日） 13:00～16:00
場所 廣池千九郎記念講堂
発表者 第22期生 4名、 研究所職員 2名



プログラムと発表要旨



13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:30 利己的な考えを改め、自己修養を続けることの大切さ

—自我没却の原理から学ぶ—

奥村祐司（第22期生）

私はこれまでに「至誠」「無私」ということに関心を持って学んできました。常に公を思う人や至誠の精神で物事を行う人の共通点は、徹底して利己的な考えを改め、自己修養を続けている、ということでした。このことは、我々人類が安心して、平和に暮らすためにも大変重要だと思います。そこで今回は、モラロジーにおける自我没却の原理を通して、自分本位から伝統本位に生き方を改めることの重要性について発表します。

13:30～13:55 利他の生き方を目指す

小松利彰（第22期生）

私は専攻塾で一貫して「道德経済一体思想」というテーマで研究をしてきました。その中で感じた事は、まず自我没却の事です。そして、利己心を離れて自己本位を改めなければ、本当に道德を根本とした経営や経済活動は成り立たないということを学びました。自分が品性完成を目指す中で、自我没却をするために考えたこと、実行できることを発表したいと思います。そして、この研究を通して利他の生き方を目指し、新たな人生を歩む自分に出会いたいと思います。

休憩（15分）

14 : 10～14 : 25 1年間のモラロジー研修を通じて学んだこと

今野 慧 (出版部 編集一課)

14 : 25～14 : 40 1年間のモラロジー研修を通じて学んだこと

山崎 桜 (教育推進部 柏生涯学習センター)

休 憩 (10分)

14:50～15 : 15 自他を大切にするための心の修養

富澤晴加 (第22期生)

他人を大事にするには、まず自分の心の修養が必要不可欠になってきます。自分や相手が救済されるには、自分という存在をつくり上げてきた伝統の恩に感謝することが必要であり、慈悲心に基づき誰かの役に立つために自己の修養に積極的に励むことが大事であると考えています。自分と相手をどう大切にするか、これは私自身が課題としてきたテーマでもあります。今回は、主に人心開発救済の原理に着目して発表します。

15 : 15～15 : 40 義務先行説—真の自由を目指して—

丸島英朗 (第22期生)

私は専攻塾に入るまで、自分の権利を一方的に主張するモンスターペアレンツや生徒たち、またクレーマーと呼ばれる人たちはなぜ自分勝手な言動がとれるのか不思議に感じ、怒りすら覚えていました。しかし、私は専攻塾でモラロジーの義務先行説を知り、私自身も気づかないうちに生まれてから当たり前のように権利をもっているものだど勘違いしていたことに気づきました。義務と権利について考え、私が今後どのように義務を果たすべきかについて発表いたします。

15 : 40～15 : 55 全体質疑・感想

15 : 55～16 : 00 閉会挨拶



※ 発表内容は変更することがあります。

■■■■■ お問合わせ先 ■■■■■

モラロジー専攻塾

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

電話 04-7173-3258

e-mail juku@moralogy.jp